



平成25年度学校基本調査の集計結果（確定値）

統計解析No.6 4

I はじめに

文部科学省所管の平成25年度学校基本調査集計結果（確定値）のうち、京都市分の結果について紹介します。

この調査は、学校に関する基本的項目である学校数、園児、児童、生徒及び学生数、教職員数、卒業後の進路などの状況を明らかにし、教育行政上の基礎資料を得るため、学校教育法で規定している幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校(注)、特別支援学校、専修学校、各種学校、大学及び高等専門学校(注)を対象として行われる基幹統計調査であり、毎年5月1日現在で実施されています。

なお、この集計結果は京都市が集計した結果であり、文部科学省が公表している結果と相違することがあります。

(注)京都市には、中等教育学校及び高等専門学校はありません。

II 幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、専修学校及び各種学校の状況

1 園児・児童・生徒数の推移

幼稚園の園児数は、平成15年度以降減少が続いていた中、昨年度増加しましたが、本年度は前年度から426人減少し、15,653人となりました。

小学校の児童数は、前年度から837人(1.2%)減少し、68,827人となりました。

中学校の生徒数は、24年度は23年度に比べて減少しましたが、本年度は前年度から155人(0.4%)増加し、39,515人となりました。

高等学校の生徒数は、329人(0.7%)減少し、43,627人となりました(表-1及び図-1参照)。

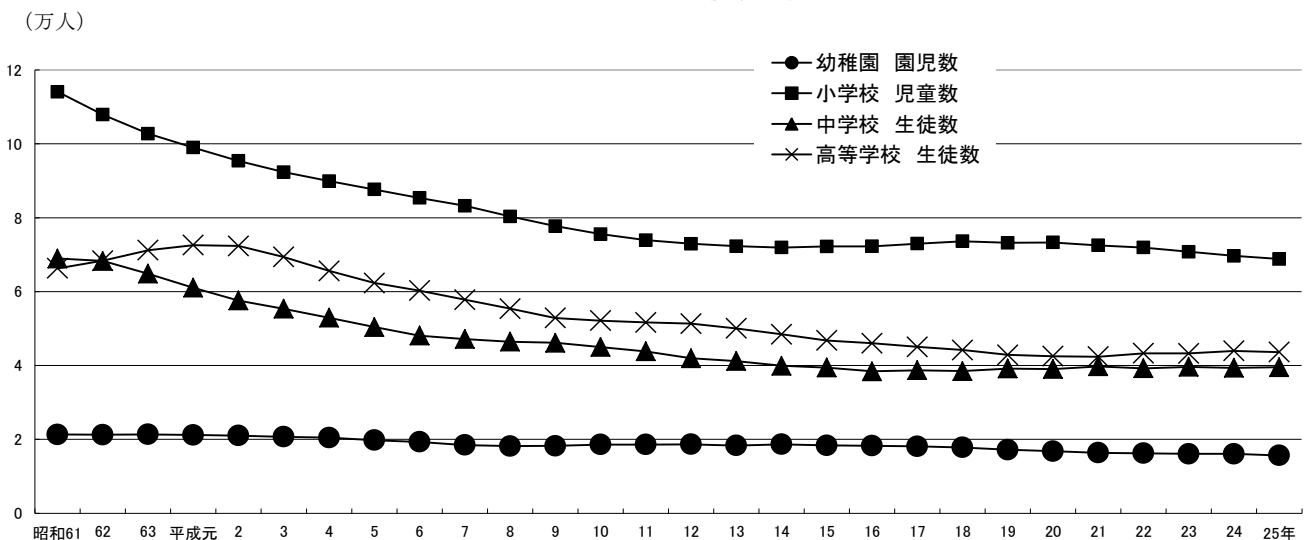
表-1 園児・児童・生徒数の推移

(単位：人)

年 度	幼稚園 園児数	小学校 児童数	中学校 生徒数	高等学校生 徒数
昭和 61年度	21,310	114,090	68,950	66,292
62年度	21,254	107,896	68,287	68,355
63年度	21,349	102,781	64,863	71,219
平成 元年度	21,187	98,990	61,061	72,579
2年度	21,024	95,406	57,593	72,362
3年度	20,679	92,342	55,354	69,367
4年度	20,451	89,935	52,931	65,600
5年度	19,774	87,673	50,409	62,330
6年度	19,329	85,353	48,087	60,286
7年度	18,453	83,242	47,165	57,827
8年度	18,177	80,367	46,430	55,375
9年度	18,229	77,739	46,158	52,880
10年度	18,602	75,565	44,993	52,147
11年度	18,595	73,935	43,811	51,659
12年度	18,668	72,942	41,970	51,342
13年度	18,317	72,302	41,214	50,047
14年度	18,645	71,946	39,913	48,434
15年度	18,351	72,232	39,421	46,759
16年度	18,279	72,272	38,421	46,018
17年度	18,097	72,973	38,721	45,026
18年度	17,819	73,642	38,487	44,181
19年度	17,183	73,223	39,163	42,865
20年度	16,807	73,304	39,033	42,512
21年度	16,364	72,539	39,769	42,390
22年度	16,220	71,930	39,244	43,284
23年度	16,071	70,797	39,617	43,265
24年度	16,079	69,664	39,360	43,956
25年度	15,653	68,827	39,515	43,627

は表中ピークの数値

図-1 園児・児童・生徒数の推移



表－２ 学校数、教員数及び園児・児童・生徒・学生数

(単位：学校数＝校，園数＝園，教員数，園児・児童・生徒・学生数＝人)

種別	年度	学校 (園)数	教員数				園児・児童・生徒・学生数			1校当たり園 児・児童・ 生徒・学生数	1教員(本務 者)当たり 園児・児 童・生徒・学 生数
			本務者			兼務者	総数	男	女		
			総数	男	女						
幼稚園	平成21年度	124	1,173	80	1,093	99	16,364	8,200	8,164	132.0	14.0
	22年度	123	1,197	84	1,113	108	16,220	8,205	8,015	131.9	13.6
	23年度	123	1,199	89	1,110	121	16,071	8,103	7,968	130.7	13.4
	24年度	123	1,208	88	1,120	134	16,079	8,120	7,959	130.7	13.3
	25年度	123	1,202	86	1,116	163	15,653	7,906	7,747	127.3	13.0
小学校	平成21年度	(3) 195	4,217	1,568	2,649	495	72,539	36,926	35,613	372.0	17.2
	22年度	(3) 193	4,256	1,594	2,662	475	71,930	36,542	35,388	372.7	16.9
	23年度	(3) 189	4,211	1,562	2,649	510	70,797	35,971	34,826	374.6	16.8
	24年度	(3) 187	4,185	1,563	2,622	496	69,664	35,509	34,155	372.5	16.6
	25年度	(3) 186	4,150	1,536	2,614	607	68,827	35,037	33,790	370.0	16.6
中学校	平成21年度	(1) 102	2,782	1,672	1,110	615	39,769	19,824	19,945	389.9	14.3
	22年度	(1) 103	2,791	1,686	1,105	611	39,244	19,513	19,731	381.0	14.1
	23年度	(1) 102	2,829	1,702	1,127	697	39,617	19,670	19,947	388.4	14.0
	24年度	(1) 102	2,821	1,698	1,123	765	39,360	19,582	19,778	385.9	14.0
	25年度	(1) 102	2,840	1,673	1,167	920	39,515	19,731	19,784	387.4	13.9
高等学校	平成21年度	53	3,079	2,178	901	1,113	42,390	21,258	21,132	799.8	13.8
	22年度	53	3,084	2,146	938	1,122	43,284	21,694	21,590	816.7	14.0
	23年度	53	3,075	2,138	937	1,138	43,265	21,698	21,567	816.3	14.1
	24年度	53	3,116	2,151	965	1,202	43,956	22,024	21,932	829.4	14.1
	25年度	53	3,066	2,130	936	1,244	43,627	21,881	21,746	823.2	14.2
特別支援 学校	平成21年度	11	884	395	489	63	1,288	825	463	117.1	1.5
	22年度	11	857	376	481	75	1,290	826	464	117.3	1.5
	23年度	10	780	340	440	65	1,211	772	439	121.1	1.6
	24年度	10	800	348	452	77	1,240	801	439	124.0	1.6
	25年度	(1) 11	792	345	447	118	1,223	792	431	111.2	1.5
専修学校	平成21年度	54	673	335	338	1,863	10,968	5,226	5,742	203.1	16.3
	22年度	55	653	317	336	1,918	11,834	5,643	6,191	215.2	18.1
	23年度	55	685	324	361	1,849	12,402	5,865	6,537	225.5	18.1
	24年度	55	709	333	376	1,892	12,412	5,894	6,518	225.7	17.5
	25年度	56	710	339	371	1,988	12,726	5,912	6,814	227.3	17.9
各種学校	平成21年度	48	299	195	104	371	5,002	2,557	2,445	104.2	16.7
	22年度	46	259	162	97	299	4,579	1,999	2,580	99.5	17.7
	23年度	45	251	159	92	353	4,450	1,908	2,542	98.9	17.7
	24年度	45	226	151	75	368	4,229	1,886	2,343	94.0	18.7
	25年度	44	230	157	73	343	4,247	1,892	2,355	96.5	18.5
大学院・ 大学 a)	平成21年度	25	8,443	7,205	1,238	10,655	134,076	73,082	60,994	5,363.0	15.9
	22年度	25	8,572	7,285	1,287	11,203	135,239	73,275	61,964	5,409.6	15.8
	23年度	26	8,696	7,336	1,360	11,412	135,177	72,851	62,326	5,199.1	15.5
	24年度	26	8,928	7,475	1,453	11,822	136,043	72,892	63,151	5,232.4	15.2
	25年度	26	9,112	7,558	1,554	12,121	143,172	76,753	66,419	5,506.6	15.7
短期大学 a)	平成21年度	12	270	140	130	979	5,161	540	4,621	430.1	19.1
	22年度	12	263	131	132	876	4,777	506	4,271	398.1	18.2
	23年度	12	250	121	129	775	4,093	460	3,633	341.1	16.4
	24年度	12	213	107	106	619	3,456	420	3,036	288.0	16.2
	25年度	12	194	101	93	636	3,356	381	2,975	279.7	17.3

注) ()内は分校の再掲を表します。

a) 大学院・大学及び短期大学の学校数及び教員数は、京都市内に学校の本部がある大学の校数及び人数です。また、学生数は、京都市内にある学部及び研究科(本部が京都市内にない場合を含む)の人数で、専攻科及び別科の学生並びに聴講生等を含みます。

2 幼稚園の状況

－園児数は2年ぶりに減少－

(1) 幼稚園数

幼稚園数は、前年度と同じく123園です。

(2) 教員数(本務者数)

教員の本務者数は1,202人で、前年度に比べて6人(0.5%)減少しています。男女別では、男子教員が2人(2.3%)減少の86人、女子教員が4人(0.4%)減少の1,116人となっています。(表-2(前ページ)参照)。

(3) 園児数

園児数は15,653人で、前年度に比べて426人(2.6%)減少しています。

行政区別にみると、北区(1.4%増)、左京区(1.9%増)、中京区(2.2%増)及び下京区(1.1%増)で増加している一方、上京区(6.3%減)、東山区(13.1%減)、南区(7.9%減)など他の7行政区では減少しています(表-3参照)。

表-3 行政区別幼稚園数、教員数(本務者)及び園児数

(単位：園数=園，園児数=人)

行政区	平成25年度							平成24年度 園児数
	園数	教員数 (本務者)	園児数	対前年度 増加数	対前年度 増加率 (%)	1園当たり	1教員 (本務者) 当たり	
京都市	123	1,202	15,653	△426	△2.6	127.3	13.0	16,079
北 区	9	86	1,038	14	1.4	115.3	12.1	1,024
上京区	13	98	1,185	△79	△6.3	91.2	12.1	1,264
左京区	18	165	1,974	37	1.9	109.7	12.0	1,937
中京区	6	58	783	17	2.2	130.5	13.5	766
東山区	5	48	674	△102	△13.1	134.8	14.0	776
山科区	10	111	1,363	△102	△7.0	136.3	12.3	1,465
下京区	10	85	1,086	12	1.1	108.6	12.8	1,074
南 区	3	37	500	△43	△7.9	166.7	13.5	543
右京区	14	170	2,318	△40	△1.7	165.6	13.6	2,358
西京区	14	169	2,428	△90	△3.6	173.4	14.4	2,518
伏見区	21	175	2,304	△50	△2.1	109.7	13.2	2,354

3 小学校の状況

－児童数は5年連続して減少－

(1) 学校数

小学校数は、前年度から1校減少の186校(本校183校、分校3校)です(表-2(前ページ)参照)。

児童数の規模別学校数をみると、前年度から児童数299人以下の学校と900人以上の学校がそれぞれ1校ずつ減少したのに対し、600～899人の学校が前年から1校増加になっています。また、24年度と同様、児童数300～599人の学校の割合が最も高く42.5%となっています(表-4参照)。

(2) 教員数(本務者数)

教員の本務者数は4,150人で、前年度に比べて35人(0.8%)減少しています(表-2(前ページ)参照)。

表-4 児童数規模別小学校数

(単位：人，構成比=%)

年 度	総 数	299人 以下	300～ 599人	600～ 899人	900人 以上
平成21年度	195	79	84	27	5
構成比	100.0	40.5	43.1	13.8	2.6
平成22年度	193	82	81	25	5
構成比	100.0	42.5	42.0	13.0	2.6
平成23年度	189	80	80	25	4
構成比	100.0	41.5	41.5	13.0	2.1
平成24年度	187	78	79	27	3
構成比	100.0	41.7	42.2	14.4	1.6
平成25年度	186	77	79	28	2
構成比	100.0	41.4	42.5	15.1	1.1

(3) 児童数

児童数は 68,827 人で、前年度に比べて 837 人 (1.2%) 減少しています。児童数を行政区別にみると、中京区 (0.7%増)、東山区 (0.3%) 及び下京区 (0.2%) の 3 行政区のみ増加し、他の行政区では減少しています。児童数が最も多いのは伏見区で 14,861 人、最も少ないのは東山区で 1,563 人となっています。

1校当たりの児童数をみると、京都市全体では370人となり、前年度に比べて2.5人減少しています。行政区別にみると、最も多いのは西京区で460.7人、最も少ないのは北区で286.6人となっています (表-2 (2ページ) 及び表-5参照)。

表-5 行政区別小学校数、教員数(本務者)及び児童数

(単位: 学校数=校 教員数, 児童数=人)

行政区	平成25年度							平成24年度 児童数
	学校数	教員数 (本務者)	児童数	対前年度 増加数	対前年度 増加率 (%)	1校当たり	1教員 (本務者) 当たり	
京都市	186	4,150	68,827	△837	△1.2	370.0	16.6	69,664
北 区	21	399	6,019	△121	△2.0	286.6	15.1	6,140
上京区	9	184	2,847	△25	△0.9	316.3	15.5	2,872
左京区	26	507	8,013	△17	△0.2	308.2	15.8	8,030
中京区	11	237	4,254	28	0.7	386.7	17.9	4,226
東山区	5	101	1,563	5	0.3	312.6	15.5	1,558
山科区	14	352	6,388	△115	△1.8	456.3	18.1	6,503
下京区	9	177	2,669	6	0.2	296.6	15.1	2,663
南 区	11	257	4,287	△56	△1.3	389.7	16.7	4,343
右京区	25	544	9,633	△117	△1.2	385.3	17.7	9,750
西京区	18	463	8,293	△137	△1.6	460.7	17.9	8,430
伏見区	37	929	14,861	△288	△1.9	401.6	16.0	15,149

注) 朱雀第三小学校は、所在地は下京区ですが、学区が中京区にあるため、中京区の学校として集計しています。

(4) 長期欠席児童

平成24年度中の長期欠席児童(30日以上)の欠席者の総数は、病気及び不登校の欠席者が増加したことにより、その他の理由の欠席者が減少したものの、前年度に比べて18人(3.4%)増加の552人となっています。

全児童に対する割合をみると、長期欠席児童の総数は0.80%となっており、前年度に比べて0.03ポイント上昇しています(表-6参照)。

表-6 30日以上長期欠席児童の状況(小学校)

(単位: 人)

	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度
30日以上 長期欠席児童	622	580	533	534	552
理由別					
病 気	235	223	202	192	212
経済的理由	—	—	—	—	—
不 登 校	191	169	158	155	165
そ の 他	196	188	173	187	175
全児童に 対する割合 (%)	0.79	0.73	0.74	0.77	0.80

注) 理由別の「その他」とは、「病気」、「経済的理由」、「不登校」のいずれにも該当しないものをいいます。

例 保護者の教育に関する考え方、無理解、無関心、家族の介護、家事手伝いなどの家庭の事情から欠席している者、外国での長期滞在、国内外への旅行などのため、長期欠席している者

(5) 帰国児童

平成24年度中の帰国児童(海外勤務者等の子どもで、引き続き1年を超える期間海外に在留し、24年度中に日本に帰国した児童)の総数は56人で、前年度に比べて2人減少しています(表-7参照)。

表-7 帰国児童数(小学校)

(単位: 人)

年度	総数	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年
平成20年度	64	12	12	13	9	11	7
21年度	72	8	14	9	14	11	16
22年度	48	6	12	9	4	12	5
23年度	58	9	8	6	14	8	13
24年度	56	13	8	10	10	10	5

4 中学校の状況

－生徒数は2年ぶりに増加－

(1) 学校数

中学校数は、前年度と同じく102校（本校101校、分校1校）です（表－2（2ページ）参照）。

(2) 教員数（本務者数）

教員の本務者数は、2,840人で、前年度に比べて19人（0.7%）増加しています。（表－2（2ページ）参照）。

(3) 生徒数

生徒数は、24年度は23年度に比べて減少しま

したが、25年度は39,515人で、前年度に比べて155人（0.4%）増加しています。

行政区別にみると、北区（0.7%減）、上京区（2.4%減）など5行政区で減少していますが、その他の6行政区では増加しています。生徒数が最も多いのは伏見区で8,532人、最も少ないのは下京区で1,242人となっています。

1校当たりの生徒数をみると、京都市全体では387.4人で、前年度に比べて1.5人増加しています。行政区別にみると、最も多いのは西京区で515.3人、最も少ないのは東山区で254人となっています（表－2（2ページ）及び表－8参照）。

表－8 行政区別中学校数、教員数（本務者）及び児童数

(単位：学校数=校 教員数、生徒数=人)

行政区	平成25年度							平成24年度 生徒数
	学校数	教員数 (本務者)	生徒数	対前年度 増加数	対前年度 増加率 (%)	1校当たり	1教員 (本務者) 当たり	
京都市	102	2,840	39,515	155	0.4	387.4	13.9	39,360
北 区	8	191	3,279	△23	△0.7	409.9	17.2	3,302
上京区	7	175	2,320	△57	△2.4	331.4	13.3	2,377
左京区	15	408	5,067	141	2.9	337.8	12.4	4,926
中京区	9	219	2,655	△30	△1.1	295.0	12.1	2,685
東山区	6	120	1,524	16	1.1	254.0	12.7	1,508
山科区	7	205	3,049	31	1.0	435.6	14.9	3,018
下京区	4	104	1,242	74	6.3	310.5	11.9	1,168
南 区	6	183	2,820	△22	△0.8	470.0	15.4	2,842
右京区	14	348	4,905	48	1.0	350.4	14.1	4,857
西京区	8	276	4,122	△23	△0.6	515.3	14.9	4,145
伏見区	18	611	8,532	0	—	474.0	14.0	8,532

(4) 長期欠席生徒

平成24年度中の長期欠席生徒（30日以上欠席者）の総数は、病気の欠席者が増加したものの、不登校及びその他の理由の欠席者が減少したため、前年度に比べて42人（3.0%）減少の1,379人となっています。

全生徒に対する割合をみると、長期欠席生徒の総数は3.49%で、前年度に比べて0.12ポイント低下しています（表－9参照）。

表－9 30日以上長期欠席生徒の状況（中学校）

(単位：人)

	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度
30日以上 長期欠席生徒	1,496	1,546	1,448	1,421	1,379
理由別					
病 気	263	280	252	247	248
経済的理由	—	—	—	—	—
不 登 校	963	956	920	922	910
そ の 他	270	310	276	252	221
全生徒に 対する割合 (%)	3.96	3.89	3.69	3.61	3.49

注) 理由別の「その他」については、表－6の脚注を参照してください。

(5) 帰国生徒

平成24年度中の帰国生徒の総数は29人で、前年度に比べて13人（31%）減少しています（表－10参照）。

表－10 帰国生徒数（中学校）

(単位：人)

年度	総数	1学年	2学年	3学年
平成20年度	74	26	24	24
21年度	46	23	14	9
22年度	47	16	13	18
23年度	42	15	12	15
24年度	29	11	9	9

(6) 卒業後の状況

平成25年3月の中学校の卒業者は12,933人で、前年度に比べて469人(3.5%)減少しています。

卒業後の進路についてみると、高等学校等進学者は12,803人で、前年度に比べて466人(3.5%)減少しましたが、卒業者に対する構成比(進学率)は前

年度と同じ99.0%でした。

また、通信制課程への進学者を除いた進学は12,531人で、進学率は96.9%になっています。

就職者(就職進学者を除く。)は25人で、前年度に比べて1人(4%)増加しています(表-11参照)。

表-11 中学校卒業後の進路別状況

(単位:人,構成比=%)

進路	卒業年次		平成21年3月		平成22年3月		平成23年3月		平成24年3月		平成25年3月	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
総数	12,720	100.0	13,448	100.0	12,970	100.0	13,402	100.0	12,933	100.0		
男	6,372	50.1	6,784	50.4	6,435	49.6	6,675	49.8	6,472	50.0		
女	6,348	49.9	6,664	49.6	6,535	50.4	6,727	50.2	6,461	50.0		
高等学校等進学者総数(A)	12,503	98.3	13,238	98.4	12,828	98.9	13,269	99.0	12,803	99.0		
全日制	11,705	92.0	12,332	91.7	12,090	93.2	12,553	93.7	12,133	93.8		
定時制	381	3.0	397	3.0	266	2.1	213	1.6	231	1.8		
通信制	261	2.1	330	2.5	286	2.2	304	2.3	272	2.1		
高等専門学校・特別支援学校	156	1.2	179	1.3	186	1.4	199	1.5	167	1.3		
専修学校(高等課程)進学者(B)	23	0.2	20	0.1	15	0.1	15	0.1	6	—		
専修学校(一般課程)等入学者(C)	12	0.1	9	0.1	1	—	5	—	5	—		
就職者	42	0.3	42	0.3	23	0.2	24	0.2	25	0.2		
上記以外の者・その他	140	1.1	139	1.0	103	0.8	89	0.7	94	0.7		
(再掲)												
(A)のうち就職者	2	0.0	3	0.0	—	—	1	0.0	—	—		
(B)のうち就職者	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
(C)のうち就職者	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		

注)専修学校(一般課程)等入学者(C)には、専修学校(一般課程)のほか、各種学校、公共職業訓練施設等の入学者が含まれます。

5 高等学校の状況

—大学進学率は2年ぶりに増加—

(1) 学校数

高等学校数は、平成17年度以降、同数の53校です(表-2(2ページ)参照)。内訳は、全日制46校、定時制1校、全日制と定時制の併置校6校となっています。

(2) 教員数(本務者数)

教員の本務者数は3,066人で、前年度に比べて50人(1.6%)減少しています(表-2(2ページ)参照)。

(3) 生徒数

生徒数を学科別にみると、多い順に普通科37,001人(構成比84.8%)、工業に関する学科が1,131人(同2.6%)、以下商業、総合学科、農業、情報の順となっています(その他の学科を除く)。前年度に比べて、普通科、農業、工業及び総合学科では減少する一方、商業及び情報に関する学科の生徒数は増加しています。また、課程別では、全日制が42,569人で、全体の97.6%を占めています(表-12参照)。

表-12 高等学校課程及び学科別生徒数

(単位:人,構成比=%)

課程	総数			普通科	普通科以外の学科					総合学科	
	総数	男	女		農業	工業	商業	情報	その他		
平成25年度											
総数	43,627	21,881	21,746	37,001	318	1,131	1,046	221	3,250	660	
構成比	100.0	50.2	49.8	84.8	0.7	2.6	2.4	0.5	7.4	1.5	
全日制	42,569	21,173	21,396	36,170	318	979	971	221	3,250	660	
構成比	97.6	48.5	49.0	82.9	0.7	2.2	2.2	0.5	7.4	1.5	
定時制	1,058	708	350	831	—	152	75	—	—	—	
構成比	2.4	1.6	0.8	1.9	—	0.3	0.2	—	—	—	
平成24年度											
総数	43,956	22,024	21,932	37,348	320	1,167	1,025	218	3,200	678	
全日制	42,776	21,268	21,508	36,412	320	1,005	943	218	3,200	678	
定時制	1,180	756	424	936	—	162	82	—	—	—	

注)農業(農業に関する学科)は農業関係、園芸関係及び林業関係、工業(工業に関する学科)は機械関係、電気関係及び建築関係など、商業(商業に関する学科)は商業関係及び会計関係、情報(情報に関する学科)は情報システム設計関係、その他は外国語関係音楽・美術関係などの学科をいいます。また、各構成比は総数に対する割合です。

(4) 卒業後の状況

平成25年3月の高等学校の卒業者は14,145人で、前年度に比べて579人(4.3%)増加しています。

卒業後の進路についてみると、大学等進学者が9,693人で、前年度に比べて162人(1.7%)増加していますが、卒業生総数に占める割合は68.5%となり、前年度に比べて逆に1.8ポイント減少しています。

男女別にみると、男子は65.8%、女子は71.2%となっています。なお、男子は9年連続60%台、女子は6年連続70%台で推移しています。

専修学校等への進学者を課程別にみると、専修学校(専門課程)への入学者は1,616人で、前年度に比べて138人(9.3%)増加しています。また、専修学校(一般課程)等への入学者は1,009人で、前年度に比べて156人(18.3%)増加しています。

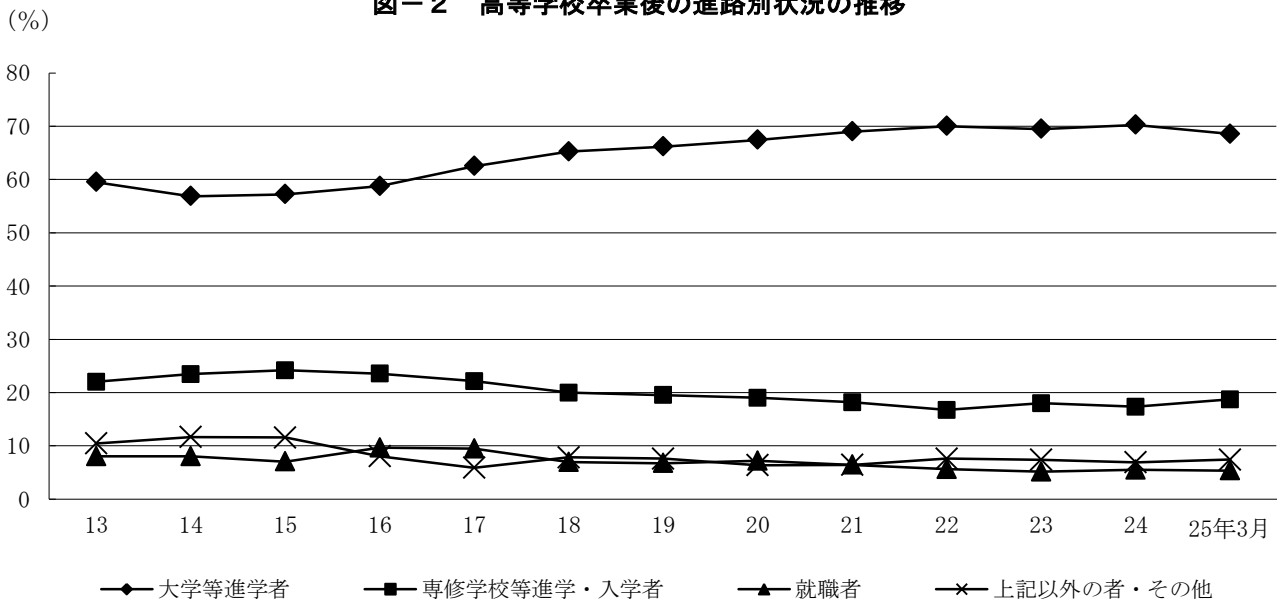
就職者は756人で、前年度に比べて11人(1.5%)増加しましたが、就職率(就職者の卒業生総数に占める割合)は5.3%と、前年度に比べて0.2ポイント減少しています(表-13、図-2及び図-3(8ページ)参照)。

就職者(就職進学者を含む)を産業別にみると、昨年と同様「製造業」が262人(構成比34.7%)と最も多くなっています。次いで「宿泊業、飲食サービス業」(78人、10.3%)、「卸売業、小売業」(75人、9.9%)となっています。男女別では、男子は「製造業」、「建設業」、「運輸業、郵便業」の順に多く、女子は「製造業」、「卸売業、小売業」、「宿泊業、飲食サービス業」の順に多くなっています(表-14(8ページ)参照)。

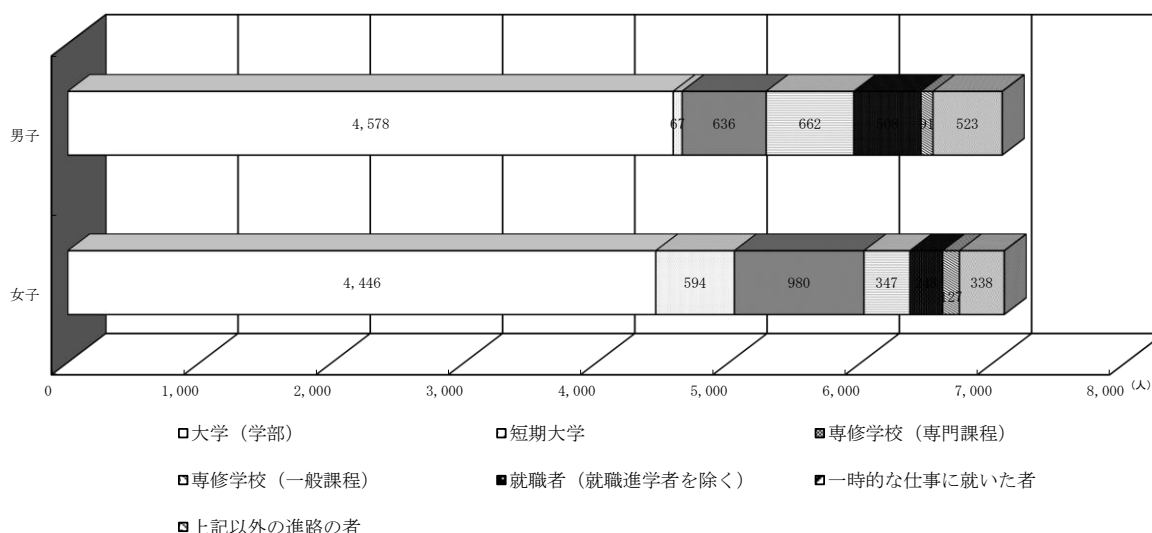
表-13 高等学校卒業後の進路別状況

進路	平成24年3月				平成25年3月			
	総数	構成比	男	女	総数	構成比	男	女
卒業生総数	13,566	100.0	6,726	6,840	14,145	100.0	7,065	7,080
大学等進学者総数(A)	9,531	70.3	4,582	4,949	9,693	68.5	4,651	5,042
専修学校(専門課程進学者)(B)	1,478	10.9	587	891	1,616	11.4	636	980
専修学校(一般課程)等入学者(C)	853	6.3	560	293	1,009	7.1	662	347
公共職業能力開発施設等入学者(D)	22	0.2	19	3	23	0.2	22	1
就職者 (上記A・B・C・Dに含まれる者を除く)	745	5.5	479	266	756	5.3	508	248
一時的な仕事に就いた者	177	1.3	71	106	218	1.5	91	127
上記以外の者	760	5.6	428	332	830	5.9	495	335
(再掲)								
(A)のうち就職者	—	—	—	—	—	—	—	—
(B)のうち就職者	—	—	—	—	—	—	—	—
(C)のうち就職者	—	—	—	—	—	—	—	—
(D)のうち就職者	—	—	—	—	—	—	—	—

図-2 高等学校卒業後の進路別状況の推移



図－３ 男女別高等学校卒業後の進路別状況



表－１４ 産業別就業者数（就職進学者を含む）

(単位：人) 平成25年3月

産 業	総 数	構成比 (%)	男		女	
			構成比 (%)	構成比 (%)		
総 数	756	100.0	508	100.0	248	100.0
農業、林業	7	0.9	7	1.4	—	—
漁業	—	—	—	—	—	—
鉱業、採石業、砂利採取業	—	—	—	—	—	—
建設業	64	8.5	62	12.2	2	0.8
製造業	262	34.7	206	40.6	56	22.6
電気・ガス・熱供給・水道業	10	1.3	10	2.0	—	—
情報通信業	8	1.1	4	0.8	4	1.6
運輸業、郵便業	59	7.8	46	9.1	13	5.2
卸売業、小売業	75	9.9	25	4.9	50	20.2
金融業、保険業	3	0.4	—	—	3	1.2
不動産業、物品賃貸業	6	0.8	3	0.6	3	1.2
学術研究、専門・技術サービス業	7	0.9	4	0.8	3	1.2
宿泊業、飲食サービス業	78	10.3	42	8.3	36	14.5
生活関連サービス業、娯楽業	30	4.0	12	2.4	18	7.3
教育・学習支援	4	0.5	—	—	4	1.6
医療・福祉	34	4.5	12	2.4	22	8.9
複合サービス	2	0.3	2	0.4	—	—
サービス業	41	5.4	31	6.1	10	4.0
公務（他に分類されないもの）	50	6.6	37	7.3	13	5.2
上記以外のもの	16	2.1	5	1.0	11	4.4

6 特別支援学校、専修学校及び各種学校の状況

－各種学校の生徒数は減少続く－

(1) 特別支援学校

特別支援学校数は、前年度から1校増えて11校となっています。教員の本務者数は8人(1.0%)減の792人、在籍する生徒等は17人(1.4%)減の1,223人となっています(表－2(2ページ)参照)。

(2) 専修学校及び各種学校

専修学校の学校数は56校、各種学校は44校です。在籍する生徒数については、専修学校では昨年度と比べて314人(2.5%)増加し、各種学校でも前年度から18人(0.4%)増加しています(表－2(2ページ)参照)。

Ⅲ 大学院、大学、短期大学の状況

1 学校数、教員数及び学生数

(1) 大学院・大学

－大学の学生数が大幅に増加－

学校数は、前年度と同じく 26 校です。

教員の本務者数は 9,112 人で、前年度に比べて 184 人 (2.1%) 増加しています。学生数は 143,172 人で、前年度に比べて 7129 人 (5.2%) 増加しています。男女別では、男子が 76,753 人で 3861 人 (5.3%)、女子が 66,419 人で 3268 人 (5.2%) 増加しています。また、男女の構成比は、男子 53.6%、女子 46.4% となっており、前年度まで女性の割合が 4 年連続で増加していましたが、今年度は昨年度と同割合でした (表-2 (2 ページ) 参照)。

学生数のうち、大学院の学生数 (本科学生のみ) は 16,192 人で、前年度と比べて 156 人 (1.0%) 減少しています。また、男女の構成比は、男子が 67.4%、女子が 32.6% となっています。

大学の学部の学生数 (本科学生のみ) は 122,314 人で、前年度と比べて 7173 人 (6.2%) 増加しており、うち女子は 8 年連続で増加しています。また、男女の構成比は、男子が 51.8%、女子が 48.2% となっています (表-15 参照)。

(2) 短期大学

－学生数の減少続く－

学校数は、前年度と同じく 12 校です。

教員の本務者数は 194 人で、前年度に比べて 19 人 (8.9%) 減少しています。

学生数は 3,356 人で、前年度に比べて 100 人 (2.9%) 減少し、19 年連続の減少となっています。男女別では、男子が 381 人で 39 人 (9.3%) 減少し、15 年連続の減少となっています。女子は 2,975 人で 61 人 (2.0%) 減少し、19 年連続の減少となっています。男女別の構成比は、男子は 10.4%、女子は 88.6% となっています (表-2 (2 ページ) 参照)。

表-15 大学院及び大学の学生数

(単位：人)

種別, 年度	学生数			
	総数	男	女	
大学院	平成21年度	16,751	11,428	5,323
	22年度	16,744	11,298	5,446
	23年度	16,587	11,132	5,455
	24年度	16,348	11,003	5,345
	25年度	16,192	10,922	5,270
大学 (学部)	平成21年度	113,045	59,145	53,900
	22年度	114,153	59,607	54,546
	23年度	114,641	59,533	55,108
	24年度	115,141	59,452	55,689
	25年度	122,314	63,323	58,991

注) 専攻科、別科の学生及び聴講生等は含みません。

2 出身高校の所在地都道府県別入学者

(1) 大学

－上位4府県で6割を占める－

平成25年度に入学した学生 (29,302 人) について、その出身高校を所在地府県別にみると、構成比が高い順に京都府 (21.9%)、大阪府 (20.3%)、兵庫県 (8.7%)、滋賀県 (8.6%) の順となっており、この4府県で全体の約6割 (59.5%) を占めています。

大学の設置者別にみると、国立 (国立大学法人が設置した学校をいう。) は大阪府、京都府、兵庫県

の順、公立は京都府、大阪府、兵庫県の順、私立は京都府、大阪府、滋賀県の順となっています (表-16 参照)。

(2) 短期大学

－上位3府県で7割以上を占める－

平成25年度に入学した学生 (1,585 人) について、その出身高校を所在地府県別にみると、構成比が高い順に京都府 (41.6%)、滋賀県 (19.2%)、大阪府 (14.6%) の順になっており、この3府県で全体の7割以上 (75.4%) を占めています。(表-16 (10 ページ) 参照)。

表－１６ 出身高校の所在地別入学者数

(単位：人) 平成25年度

設置者	都道府県	総数	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位	第7位	第8位	第9位	第10位
			京都府	大阪府	兵庫県	滋賀県	奈良県	愛知県	外国, 専修等 a)	広島県	静岡県	福岡県
大学入学者総数		29,302	6,411	5,957	2,539	2,531	1,382	920	666	625	519	512
構成比 (%)		100.0	21.9	20.3	8.7	8.6	4.7	3.1	2.3	2.1	1.8	1.7
国立		3,956	591	758	451	159	280	218	87	144	70	96
公立		820	314	136	75	43	44	17	8	5	10	8
私立		24,526	5,506	5,063	2,013	2,329	1,058	685	571	476	439	408

設置者	都道府県	総数	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位	第7位	第8位	第9位	第10位
			京都府	滋賀県	大阪府	兵庫県	奈良県	外国, 専修等 a)	福井県	和歌山県	三重県	石川県
短大入学者総数		1,585	659	305	231	50	36	35	30	19	17	16
構成比 (%)		100.0	41.6	19.2	14.6	0.2	0.1	2.2	1.9	0.1	0.1	0.1
国立		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
公立		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
私立		1,585	659	305	231	50	36	35	30	19	17	16

a) 「外国，専修等」は，外国の学校を卒業した者，専修学校高等課程を卒業した者，高等学校卒業程度認定試験に合格した者などをいいます。

3 卒業後の状況

(1) 大学院

－進学者数は横ばい－

平成25年3月の大学院卒業者は7,621人で，前年度に比べて69人(0.9%)減少しています。

進路別内訳をみると，進学者812人(構成比10.7%)，就職者は5,080人(同66.7%)となっています。前年度から，進学者数は変わりませんが，就職者は78人(1.5%)減少しています(表－17参照)。

(2) 大学

－就職者数が大幅増加－

大学卒業者は30,596人で，前年度とほぼ同数(5人減)でした。

進路別内訳をみると，大学院等への進学者は4,163人(構成比13.6%)，就職者は19,801人(同64.7%)となっています。前年度に比べて，進学者は85人(2.0%)減少している一方，就職者は947人(5.0%)増加しています(表－17参照)。

(3) 短期大学

－卒業者の減少続く－

短期大学卒業者は2,041人で，前年度に比べて503人(19.8%)減少しています。

進路別内訳をみると，進学者は216人(構成比10.6%)，就職者は1,458人(同71.4%)となっています。前年度に比べて，進学者は174人(8.5%)，また，就職者は189人(9.3%)減少しています(表－17参照)。

表－１７ 大学院，大学及び短期大学の進路別内訳

(単位：人)

区分	卒業者			
	総数	大学院等への進学者	就職者	その他 a)
大学院				
21年3月	6,479	788	4,077	1,614
22年3月	6,541	844	4,045	1,652
23年3月	6,144	783	3,836	1,525
24年3月	7,690	812	5,158	1,720
25年3月	7,621	812	5,080	1,729
大学				
21年3月	28,972	4,240	19,440	5,292
22年3月	28,015	4,260	16,600	7,155
23年3月	30,707	4,507	18,500	7,700
24年3月	30,601	4,248	18,854	7,499
25年3月	30,596	4,163	19,801	6,632
短期大学				
21年3月	2,541	450	1,483	608
22年3月	2,306	433	1,225	648
23年3月	2,723	407	1,680	636
24年3月	2,544	390	1,647	507
25年3月	2,041	216	1,458	367

a) 専修学校・外国の学校などに入学した者，一時的な仕事に就いた者を含みます。

4 外国人学生及び留学生の状況

表－18 大学院、大学及び短期大学に在籍する外国人学生及び留学生数

(1) 概要

－外国人学生、留学生とも増加続く－

京都市に本部のある大学院、大学、短期大学に在籍する外国人学生（日本国籍を持っていない学生）は7,871人で、そのうち留学生は6,730人となっています。

平成21年度以降のデータでみると、外国人学生、留学生ともに、総数は年々増加する傾向にあります（表－18参照）。

(2) 大学院

－中国からの留学生が6割を占める－

大学院に在籍する外国人学生は3,309人で、そのうち留学生は3,158人となっています。前年度に比べて、外国人学生は520人（13.3%）、留学生は173人（5.8%）増加しています。

留学生数を国費（日本政府から奨学金を支給されている者。以下同じ）・私費（国費以外の者。以下同じ）別にみますと、国費が652人（構成比20.6%）、私費が2,506人（同79.4%）となっています。また、国籍別にみますと、多い順に中国が1,895人（同60.0%）、韓国が322人（同10.2%）、タイが100人（同3.2%）となっています。専攻科・別科、聴講生・研究生等を除いた関係学科別内訳では、多い順に工学が699人（構成比25.4%）、社会科学が632人（同23.2%）、人文科学が249人（同9.1%）となっています（表－18、19及び20（12ページ）参照）。

(3) 大学

－女性の留学生数が男性を大幅に上回る－

大学に在籍する外国人学生は4,526人で、そのうち留学生は3,554人となっています。前年度に比べて、外国人学生は101人（2.3%）、留学生は135人（3.9%）増加しています。

留学生数を国費・私費別にみますと、国費が129人（構成比3.6%）、私費が3,425人（同96.4%）となっています。

また、国籍別にみますと、多い順に中国が1,858

（単位：人）

年 度	外 国 人 学 生			
	総 数	大学院	大 学	短期大学
平成21年度	6,191	2,408	3,681	102
22年度	6,494	2,705	3,706	83
23年度	6,867	2,899	3,905	63
24年度	7,606	3,135	4,425	46
25年度	7,871	3,309	4,526	36
年 度	う ち 留 学 生			
	総 数	大学院	大 学	短期大学
平成21年度	5,065	2,274	2,720	71
22年度	5,592	2,588	2,941	63
23年度	5,755	2,743	2,973	39
24年度	6,432	2,985	3,419	28
25年度	6,730	3,158	3,554	18

人（同52.3%）、韓国が924人（同26.0%）となり、この両地域からの留学生で総数の約8割（同78.3%）を占めています。専攻科・別科、聴講生・研究生等を除いた関係学科別内訳では、多い順に社会科学が991人（構成比27.9%）、人文科学が593人（同16.7%）、工学が378人（同10.6%）となっています（表－18、19及び20（12ページ）参照）。

(4) 短期大学

－外国人学生、留学生とも減少続く－

短期大学に在学する外国人学生は36人で、そのうち留学生は18人となっています。前年度に比べて、外国人学生は10人（21.7%）、留学生も10人（35.7%）、それぞれ減少しています。

留学生数を国籍別にみますと、アメリカからの留学生（1人）を除いて全て中国からの留学生（17人）となっています。また、専攻科・別科、聴講生・研究生等を除いた関係学科別内訳では、社会科学が13人で、留学生の72.4%を占めています（表－18、19及び20（12ページ）参照）。

表－19 大学院・大学・短期大学に在籍する留学生数

平成25年度

	大学院						大 学			短期大学					
	総 数	男		女		総 数	男		女		総 数	男		女	
		男	女	男	女		男	女	男	女					
留学生数															
総 数	3,158	1,644	1,514	3,554	1,534	2,020	19	8	11						
国 立	1,502	814	688	483	241	242	—	—	—						
公 立	62	25	37	15	7	8	—	—	—						
私 立	1,594	805	789	3,056	1,286	1,770	19	8	11						
(再掲) 国費・私費別															
国 費	652	389	263	129	67	62	—	—	—						
私 費	2,506	1,255	1,251	3,425	1,467	1,958	19	8	11						
留学生以外の外国人															
総 数	27	10	17	972	555	417	17	4	13						
国 立	25	9	16	26	13	13	—	—	—						
公 立	—	—	—	14	5	9	—	—	—						
私 立	2	1	1	932	537	395	17	4	13						

表-20 国籍、学科別外国人学生及び留学生数（大学院、大学及び短期大学）

(単位：人)

国	籍	平成 25年 総数	関係学科（学部）												専攻科 ・別科	聴講生・ 研究生等	平成 24年 総数	
			計	人文 科学	社会 科学	理学	工学	農学	保健		家政	教育	芸術	その他				
									医・ 歯学	その他								
外 国 人 学 生	大 学 院	総 数	3,309	2,935	274	671	91	721	114	82	47	—	56	152	727	—	374	3,135
		中国	1,955	1,780	138	468	34	328	54	39	27	—	50	82	560	—	175	1,824
		韓国	384	342	61	78	18	92	11	3	3	—	4	44	28	—	42	390
		タイ	100	92	2	12	3	53	5	4	2	—	—	2	9	—	8	97
		インドネシア	99	92	10	18	—	28	12	3	2	—	—	3	16	—	7	101
		ベトナム	96	90	6	9	2	39	6	3	—	—	—	1	24	—	6	100
		その他	675	539	57	86	34	181	26	30	13	—	2	20	90	—	136	623
留 学 生	大 学	総 数	4,526	3,413	845	1,398	20	461	15	7	22	3	31	296	315	178	935	4,425
		中国	2,088	1,686	464	708	11	298	9	—	6	—	19	83	88	133	269	1,872
		韓国	1,563	1,452	278	652	7	92	6	6	16	3	12	192	188	14	97	1,598
		アメリカ	217	26	9	2	—	—	—	1	—	—	—	3	11	3	188	207
		タイ	63	33	21	3	—	3	—	—	—	—	—	6	—	9	21	47
		ドイツ	61	4	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	56	65
		その他	534	212	70	33	2	68	—	—	—	—	—	12	27	18	304	482
留 学 生	短 期 大 学	総 数	36	35	10	16	—	—	—	—	—	2	1	4	2	—	1	46
		中国	22	22	4	14	—	—	—	—	—	—	—	2	2	—	—	30
		韓国	8	8	2	2	—	—	—	—	—	2	1	1	—	—	—	9
		ブラジル	2	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
		ペルー	2	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
		ドイツ	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
		フランス	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
留 学 生	大 学 院	総 数	3,158	2,810	249	632	89	699	114	80	45	—	52	150	700	—	348	2,985
		中国	1,895	1,726	130	446	33	321	54	37	27	—	46	81	551	—	169	1,762
		韓国	322	295	47	69	17	83	11	3	1	—	4	43	17	—	27	322
		タイ	100	92	2	12	3	53	5	4	2	—	—	2	9	—	8	96
		インドネシア	96	89	9	16	—	28	12	3	2	—	—	3	16	—	7	99
		ベトナム	94	88	6	8	2	39	6	3	—	—	—	1	23	—	6	99
		その他	651	520	55	81	34	175	26	30	13	—	2	20	84	—	131	607
留 学 生	大 学	総 数	3,554	2,523	593	991	13	378	15	—	1	—	22	276	234	176	855	3,419
		中国	1,858	1,478	388	628	11	265	9	—	1	—	19	82	75	132	248	1,810
		韓国	924	826	138	331	1	49	6	—	—	—	3	175	123	14	84	905
		アメリカ	187	22	7	2	—	—	—	—	—	—	—	3	10	3	162	170
		タイ	59	30	19	3	—	2	—	—	—	—	—	6	—	8	21	41
		ドイツ	56	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	53	62
		その他	470	165	40	27	1	62	—	—	—	—	—	10	25	18	287	429
留 学 生	短 期 大 学	総 数	18	18	—	13	—	—	—	—	—	—	—	3	2	—	—	28
		中国	17	17	—	13	—	—	—	—	—	—	—	2	2	—	—	24
		アメリカ	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—

注) 短期大学の「人文科学」, 「社会科学」, 「農学」は,それぞれ「人文」, 「社会」, 「農業」と読み替えます。